

展示品から分かる馬との生活

馬と共にあった農家の暮らし

岩手県は、古くから良馬の産地として全国に知られていました。政治や経済、軍事的にも重要視されていた馬は、農耕馬としても多くの農家を手助けしてきました。

農業が盛んな県内で馬の農耕が始まったのは、江戸時代中期以降といわれています。馬に馬鍬まんがしろうを引かせて代かきをするようになりました。また、資材を運搬したり、馬糞から堆肥を作ったりするなど、農耕馬として活躍するようになりました。

農家の住居は、馬屋と母屋が棟続きであることが多かったといえます。これは、外敵から馬を守りなが



農耕馬で代かきをする人々 (昭和中頃、西根地区)

ら飼育するためでした。

また、当時の馬屋には、馬の無病息災を願って駒形神社(畜産の神)の御守札が貼られていました。このことから、馬と共に生活し、まるで家族のように大切に扱われてきたことが分かります。



馬屋にたくさん貼られた御守札 (昭和9年、安代地区)

テーマ展「おひろめ展」を開催します

幕府が派遣した巡見使じゆんけんしに関する古文書、荷鞍や蹄鉄にくらていつなどの農耕馬に装着する用具、相撲や戦争に関する資料など、未公開のものを中心に展示します。

■期間 4月26日(金)から9月1日(日)まで

■時間 午前9時から午後4時半まで(ただし入館は午後4時まで)

こどもの読書週間が始まります

こどもの読書週間は4月23日から

(公社)読書推進運動協議会は、4月23日(火)から5月12日(日)まで「ドは読書のド」を標語に掲げ、こどもの読書週間を実施します。

大型連休を含む期間中は、ぜひ本を借りて親子で読書を楽しみましょう。



◆絵本のおすすめ!

◎『どんぶりん』 著:新井 洋行、出版社:アリス館

月曜日、どんぶりんは牛肉さんと玉ねぎちゃんとべにしようがくんに会って「ぎゅうどんぶりん」になりました。火曜日は「おやこどんぶりん」明日はどんな丼になるのでしょうか。料理に興味が出てくる絵本です。



◆図書館ボランティアを募集

図書館の活動をサポートするボランティアを募集します。主な活動は右の通りです。

詳しくは当館までお問い合わせください。

◆開館時間や行事の名称、日時が変わりました

■夏季開館時間

4月から図書館の開館時間を変更しています。

▶月から土曜日:午前9時から午後7時まで

▶日曜日・祝日:午前9時から午後5時まで

※松尾・荒屋両コミュニティセンター図書室は変更ありません。

■行事の名称や開催日時

▶えほんの会(変更前は新刊子どもの本を読む会):第1土曜日午後2時から3時まで

▶Tom&Tam Story Time:第2土曜日午後3時から3時半まで

主な活動内容

- ・本の読み聞かせ
- ・本棚整理
- ・本の修理
- ・お話室の壁面装飾